

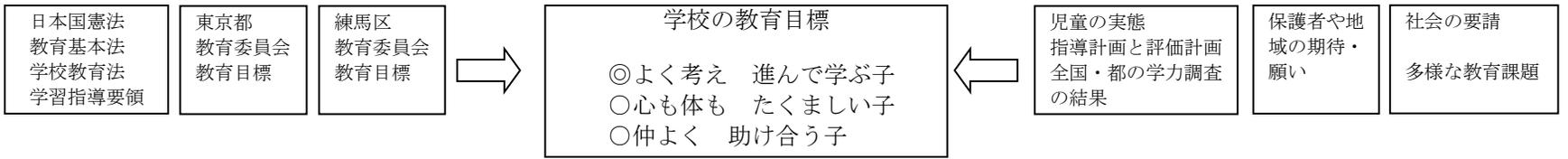
南田中小学校授業改善推進プラン

学校番号 62

平成27年度

練馬区立南田中小学校

学力向上を図るための全体計画



学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- 「分かる・できる授業」による基礎基本の定着（全教科における言語活動を大切にす。）
- アクティブ・ラーニングを取り入れた授業改善
 - ・問題解決的な学習を基に、自ら課題を発見し解決しようとする態度を育成する。
 - ・児童の学習への意欲や思考力や判断力、表現力を育成するため、計画的な指導を行う。
- 読書の習慣化と読書活動の充実（区立南田中図書館を利用し、活字に親しむ学校づくりに努める。）
- 個に応じた指導の工夫
- 幼保小連携教育・小中一貫教育の推進（学びの連続性に向け、カリキュラムや指導法を改善しながら、円滑な接続を図る）

各教科の指導の重点

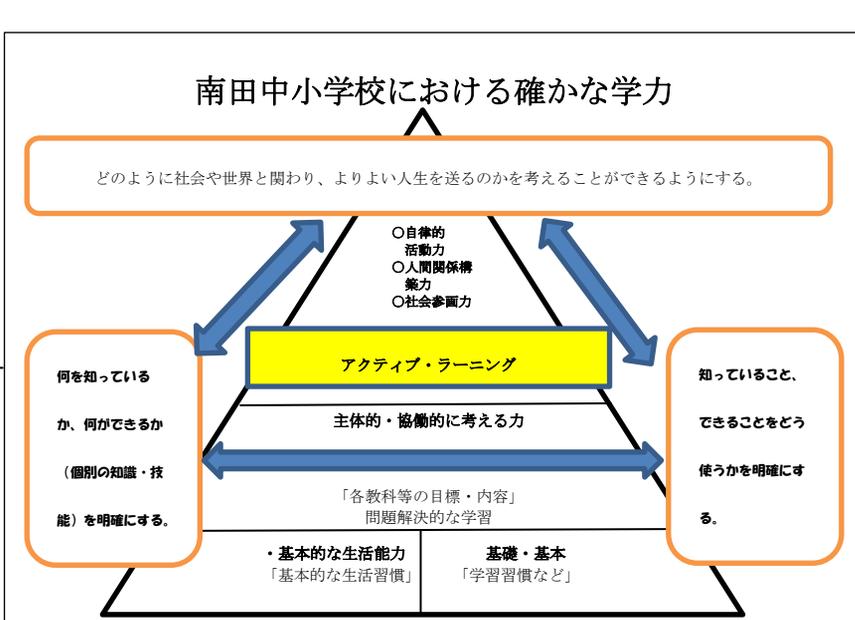
- ・基礎的・基本的な内容の習得・反復
- ・習熟度別指導の推進【学習形態の工夫】、ベーシック・ドリルの活用
- ・課題発見と課題設定の工夫
- ・意欲を引き出す過程の重視
- ・互いに認め合い、学び合う場の設定
- ・多面的に物事を考える場や自分の考えを発表する場の設定
- ・体験的な学習や問題解決的な学習の推進
- ・補充的・発展的な指導の充実
- ・よさや可能性を伸ばす評価の工夫

総合的な学習の時間の指導の重点

- ・実社会や実生活との関わりを重視した探究的な活動の推進
- ・自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考える活動の展開
- ・学び方やものの考え方を身に付ける活動の推進
- ・各教科等との関連による深化

外国語活動における指導の重点

- ・言語や文化に対する理解を深め積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- ・学ぶ意欲や意義を高め、外国語に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の向上



【学力向上を図るための基本方針】

- 学習者が主体的かつ協働的に学ぶことによって、全ての教科・領域における言語活動を充実させ、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を向上させながら、「自分の思いや考えをもち、表現できる子」の育成を図る。
- 区立南田中図書館を活用する計画を策定させ、並行読書等の推進、読書の質や読書量を向上させるなど、活字に親しむ学校づくりを目指す。
- 小中一貫教育実践校として、昨年度策定した算数・数学および理科の課題改善カリキュラムを検証する。今年度は、小中9年間を見通した国語科における課題改善カリキュラムを作成し、系統的な文学的文章の指導を改善する。
- 「みんなでみんなをそだてる」を合言葉に、家庭や関係機関との行動連携を図り、基礎生活能力を培うなど社会力の向上を図る。

道徳教育の指導の重点

- ・人権を尊重する態度の育成
- ・考えを議論する道徳の転換
- ・多面的・多角的に考える問題意識をもって話し合う学習の推進
- ・自己の生き方や他者との関わりについて考えを深め、道徳的判断力、道徳的心情や道徳的実践意欲と態度の育成
- ・各教科との関連性を明確にした指導計画に基づいた補充・深化・統合

特別活動の指導の重点

- ・心身の調和のとれた発達と個性の伸長
- ・集団の一員としての自覚と望ましい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度の育成（特別支援学級との交流を含む）
- ・活動目標を皆でつくり、その達成方法を話し合っって役割分担するなど自己を生かす能力や合意形成能力の育成

生活指導における指導の重点

- ・基本的な生活習慣の定着
- ・学校いじめ対策基本方針に基づくいじめの未然防止・丁寧な対応
- ・教育相談の充実
- ・安全教育の充実

キャリア教育における指導の重点

- ・自己および他者に積極的に関わろうとする子供の育成
- ・夢や希望、憧れる自己イメージを描き、努力する態度の育成
- ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・体験的・問題解決的な学習を重視し、児童の学ぶ意欲を引き出し、確かな学力の向上に努める。 ・算数では、第3学年以上が東京方式の習熟度別指導を行い個に応じた指導の工夫に努める。また、第1・2学年はTTや少人数指導を行い、3年への円滑な接続を図る ・夏休み教室や放課後学習などで補充的な学習を充実させ、基礎的・基本的な内容の習得と反復を行う。 ・実物投影機やプロジェクターなどのICT機器を活用した授業改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなみん学級と通常学級との「交流及び共同学習」を計画的に行い、障害理解の啓発を図る。 ・学校図書館の活用、区立南田中図書館の連携を通して、主体的に学習に取り組む児童の育成に努める。 ・小中一貫教育で進めている課題改善カリキュラムの内容である算数での図形領域での課題と理科での各学年における育てたい思考力の項目を捉え、授業改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を充実させ、「自分の思いや考えをもち、表現できる子の育成」を目指す。 ・区立南田中図書館を利用し、読書の質や量を向上させた授業づくりに努める。 ・日常的に授業を公開するとともに、教員相互の授業参観を実施する。 ・生活指導および人権教育に関する研修会、OJTを意識した若手教員への研修会を行い、児童の特性等や教育的ニーズを把握するとともに自らの指導を振り返る機会を設ける。 ・小中一貫教育を推進させ、児童の学びの連続性を図る。また、思考力・判断力・表現力を高めるよう授業改善に努める。 ・人事考課制度を活用した学校運営力・組織での対応力、教員としての資質の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動をPDCAサイクルで常に評価・点検し、改善策を検討する。 ・各教科・領域の指導計画および評価計画の見直しを図り、適正かつ信頼ある評価につなげていく。 ・児童一人一人に対して肯定的な評価、自己の成長を実感させる評価となるよう努める。 ・学校公開などを通して、保護者のアンケート、学校評議員や保護者・児童による学校関係者評価を分析し、課題を明らかにする。全教員による自己評価の結果を基に改善を重ね共通理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間8回の土曜授業を通して、授業公開を行い、保護者がいつでも参観できるような雰囲気づくりに努める。 ・道徳授業地区公開講座の内容を工夫し保護者や地域の方々や子供の道徳教育に関する意見交換の場を設定する。 ・学校評議員会を年3回実施する。 ・地域行事に積極的に参加する。 ・学校評価を次年度の教育活動に反映させ、指導の充実・向上に努めるとともに、その結果や成果を保護者・地域に学校だよりやHP等で発信する。

